

2006年6月22日

No.59

又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 谷岸 孝士

富山市下新町 4-27

TEL 076-441-0800

HP: www.s-mataichi.com

又市幹事長 07参院選へ始動

社民党は6月15日の常任幹事会で、来年7月の参院選に、又市征治幹事長を党公認予定候補（比例代表）の第一号に決定した。引き続き他の候補の擁立を図り、又市幹事長は全国遊説に入る。（当面は、【愛媛】6月26～28日、【香川】6月29日～7月1日 【富山】7月1～2日 【宮崎】7月3～6日 【鹿児島】7月6～7日 【富山】7月7～9日 【大分】7月10～12日 【長崎】7月13～14日などを予定。）

党全国幹事長会議で檄 又市幹事長「対立軸は、社民党と自民党の間にある」

又市幹事長は16日（金）、社民党本部での全国幹事長会議で基調報告と「護憲闘争をはじめとするこれからの運動について」を提起した。

①まず今国会で、後半で教育・憲法改悪国民投票、共謀罪、防衛「省」昇格などの悪法案が出されたが当面成立を阻止したこと、民主党は小沢新代表に代わったが、いわゆる「対決路線」は、国民にとっては政府・与党案との「改悪」競争が基本で保守性がはっきりしてきたこと、終盤にほとんど審議もなく水面下で自公民三党合意が押し付けられようとしてきたが、社民党の奮闘と国民の監視により、採決を阻止してきたと報告し、「保守二大政党という状況下でも、わが党が徹底して主張すれば、マスコミ・世論が変わり、野党も変わる」と展望を示した。



「憲法」街頭演説会、4千会場に迫る 「国民5大要求」で300カ所講演会、500万人署名、500万人との対話を

②又市幹事長は、次いで国民運動と党勢拡大について、当初1000カ所を目標に提起した憲法の街頭演説会は、「うちの地域で憲法を語っても…」とひるむ声もあったが、各地方党组织の努力により、既に3,790箇所で開催され、4千カ所に迫っている、と報告。医療・介護・失業・年金・公共サービス切捨てなど、小泉政権下の弱肉強食・格差社会で苦しんでいるすべての人々に向けて、国民5大要求（または6大要求など、各地域で決定）で運動を起こし、憲法改悪阻止の運動とともに広げていくことを訴えた。具体的には、国会・自治体議員を講師にじっくりと語り合う300小選挙区ごとの講演会、500万人の署名、500万人との対話を提起した。

③また、今年の沖縄の各地方選、来年の統一地方選、7月の参院選で党の旗を高く掲げるため、運動の中から候補者擁立を早めようと督励した。また、辻元女性青年委員長は、党の若返りを図り、青年を大胆に候補者に抜擢しようと、9月に合宿を行うことを呼びかけた。

164通常国会の主な結果

医療・健保	高齢者病棟からの追い出しや保険診療外し。与党が衆院で強行採決。可決成立。
「共謀罪」	619の犯罪に目配せだけで共謀とする。民主対案で混乱し、継続審議に。
「行革」諸法	官民競争入札で行政サービスと公務員を削減。可決成立。民主は2割削減の対案。
大衆増税	定率減税を廃止し庶民に増税。法人減税12兆円や高額所得者減税はそのまま。
憲法改悪	憲法調査特別委員会を置くなど常時発議可能に。投票法案は民主も97%同文。継続。
地方自治	自治法：行政財産も貸付可能に。地方議員年金：労働者の立候補が困難に。